

龍谷顕真会 公開講演会

参加費無料

■2017(平成 29)年

5月22日(月)

16:00~17:30

■場所:

聞法会館 3 階研修室

■講師:

龍谷大学政策学部長

只友 景士 師

■講師プロフィール

1966 年岡山県生まれ。

1993 年に滋賀大学経済学部を卒業後、京都大学大学院経済学研究科博士前期課程に進学し、1996 年に修了。滋賀大学経済学部助手、講師、助教授(2007 年から准教授)を経て、2011 年に龍谷大学へ移籍、新設された政策学部の教授、2017 年 4 月より同学部長。

専門:財政学、地方財政論、
地域経済学、環境経済学。

共著に、「地方分権と財政責任」(勁草書房、1999 年)、「沖縄 21 世紀への挑戦」(岩波書店、2000 年)、「セミナー現代地方財政」(勁草書房、2000 年)、「転換期のくらしと経済」(ナカニシヤ出版、2002 年)、「セミナー現代地方財政 I」(勁草書房、2006 年)

まちづくりを 仕掛ける

■講演会内容

現代日本は、大都市へ人口が集中する一方で、地方では過疎化が深刻さを増しています。グローバル化が進み、情報技術をはじめ科学技術が高度に発達した現代は、社会の変化が激しく、これまでの工業社会とは違った新しい時代のステージに入っています。そんな時代の転換点にある中で、地域づくりの成功の方程式はありません。そんな時代に地域づくりを仕掛けるにはどうすれば良いのでしょうか。今回の講演では、様々な問題に直面している地域が、課題を解決しながら「持続可能なまちやむら」をつくることはそもそも可能なのか、「持続可能なまちやむら」をつくるには何が必要なのかをお話します。

まちづくりには、将来を構想する「構想力」とそれを実現する手立てが必要です。しかし、その構想力も経済問題に気を取られてしまい貧困化しているのではないのでしょうか。私たちの暮らす「まちやむら」を守り育て、そこに生きる人々が意義ある生き方ができる、そんな生きるに値する世界をつくる豊かな構想力が必要です。そして、構想されたことを実現する手立てとして、市民参加と協働、自治が不可欠です。まちあるきからまちのことを調べ考える活動、話し合いからまちを変える活動などを素材にしながら、まちの未来を考える豊かな構想力を育み、その構想を市民参加と協働、自治で切開く可能性についてお話します。

主催:龍谷顕真会

【事務局】浄土真宗本願寺派

所務部<文書担当>内

TEL:075-371-5181(代表)

龍谷顕真会とは、聞法及び宗門の組織的な社会的実践活動に寄与するため、浄土真宗本願寺派僧侶で、地方自治体の議員及び首長を会員として組織された団体です。